

高村萌茂加

恋愛感情とコミュニケーションツールの時代的変遷

恋愛はどんな時代でも存在し、その時代ならではの恋物語が繰り広げられてきた。時代が進化するとともに恋愛の形も日々変化し続けている。恋愛は義務教育でもない学習したことのないものだが、恋愛について人々の興味関心が高いことは日々の生活で感じている。性別恋愛問わず私たちの人生に関与する恋愛に興味を抱いたため、本論文のテーマに至った。「恋愛感情」と「時代における恋愛観とコミュニケーションツールの変容」の大きく2つの事に着目し、研究を進めた。恋愛感情がどのようなものを理解するために人間の心理から男女の構造違い、人間の欲求などあらゆる側面から恋愛感情を考察した。恋愛感情が一言でどういうものを表現することは難しく、これが恋愛だと言い切るには、あまりに複雑なものであることが考えられた。時代における恋愛観とコミュニケーションツールの変容では、平安時代から現代にむけてその時代によってどのようにコミュニケーションをとり、どんな恋愛観が見受けられたのかに焦点をあてた。恋愛観は、かつて恋愛は自由にできるものではなかったが、現代は同性愛者への関心も高まっていて誰でも自由に人を好きになれるようになってきた。又、手紙が主流であった昔からスマートフォンが登場し、時代の流れと共に効率性が求められる時代になっている傾向が見られた。恋愛はその時代ならではの恋物語が存在し、どんな時代になってもその時代にしかないコミュニケーションツールと恋愛事情が存在する。